



# ふれあい農園で稲刈り 一宮北小とこども園



初めての鎌を上手に使っていました



みんなで協力して刈り取り作業をしました

汗ばむ陽気だった10月1日、一宮北小学校のふれあい農園で一宮北小学校の全校児童85人と、一宮北こども園の園児13人が合同で稲刈りを行いました。ふるさと学習で食農教育の一環として毎年もち米を作っており、品種は「ヤマフクモチ」。低学年と園児は高学年とペアになり、重く垂れさがった稲穂を丁寧に刈り取りました。慣れない手つきにヒヤヒヤしながらでしたが一生懸命刈り取り、刈り取った束を抱えて脱穀するコンバインまで運び、約8aの田んぼの稲刈りが終了しました。土地の提供から田植え後の管

理、刈り取りの手伝いまで地元農家に協力してもらいながらの米作りでしたが、地域の子どもは地域のみんなで育てようという思いが強く感じられ、子どもたちにとってもいい経験となりました。収穫したもち米は全児童が持ち帰る他、「みかたの朝市」で販売する予定にしています。JAハリマは今後も管内の小学生に少しでも農業に慣れ親しんでもらうため、学校農園活動に対する活動支援金を助成してまいります。



# ずっしりと見事に垂れさがった稲穂に歓声響く 千種小中高校生が合同で稲刈り

地元の指導者田住学さんより刈り方を教えていただきました



9月27日、千種高校では連携型中高一貫教育で5月に植えた稲の刈り取りを行いました。高校1年生・中学3年生・小学5年生の合計58人が、黄金色に染まり首を垂れた稲を刈り取っていききました。今年も地元ブランド米「ちくさの舞」と同じ栽培方法をを用い、JAの営農相談員による2回の稲作勉強会や、圃場管理と田植えから刈り取りまでの作業指導は



高校生のお姉ちゃんが刈り方見本を示します

地元農家の指導をうけながら、熱心に栽培に取り組んできました。例年と同じく小学生・中学生を交えて高校生とペアになり、鎌を手に丁寧に刈り取っていききました。このお米は、今年もお米甲子園に出品するほか、ちくさ学校給食センターにも寄贈され、小中学生が給食でいただくことになっています。